

# 第1回米原市教育委員会

日 時：平成20年1月28日  
15時00分開会  
場 所：米原市役所山東庁舎  
3階 第2委員会室

出席者 教育委員：山岡委員長 堀田委員 松蔭委員 瀬戸川教育長  
教育委員会事務局：清水教育部長  
教育総務課：馬淵課長 岩脇参事  
学校教育課：安田課長  
まなび推進課：中井課長  
書 記 教育総務課：二之宮

## 1. 委員長あいさつ

山岡委員長あいさつ

## 2. 事務局からの報告

①教育総務課より概要説明

②学校教育課より概要説明

委 員：教員の人事評価を実施する上で大切なことは校長が教室訪問等により教員の指導実態を明確に観察し、懇談により適切な指導を行い生かされているかどうかを把握した上で評価すること。このことにより評価者と評価される側が共に納得のいく評価が出来るのではないかと。また、このことが教員の資質向上にもつながると思う。

事務局：人事評価については目標管理の手法を採用して評価を行っている。一人ひとりが自分の目標を立て、校長や教頭が目標の聞き取りをおこなったうえで評価を下すという手法を取入れている状況である。このため、校長や教頭と教員との間での面談機会は増えてきている。

委 員：人事評価をより適切に行うため、校長の教室訪問や懇談等を十分に行い、教職員の全員研修会等の機会に教育委員会から十分な説明をおこなう必要がある。

③まなび推進課より概要説明

委 員：市長と公民館長との座談会の中で公民館長からどのような意見があったか教えていただきたい。

事務局：今回の座談会では問題点を話し合う場としてではなく、各公民館の特色等、現在の取り組み内容等の話合いを行った。

委 員：どこの公民館も経費的に苦しいうえ、物品等も市から簡単に貸与してもらえない等の事情を聞いたことがあるが、指定管理を導入することで様々な弊害が生じているのではないかと。

事務局：市営の公民館でないことを対外的に強調しているため、物品の貸与等でもなかなか柔軟にいかない部分もある。

## 3. 議題

議案第1号 米原市伊吹薬草の里文化センター条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

委員：平均3割程度の値上げになるのか。

事務局：グリーンパーク等の公衆浴場に準じて決定している。

委員：入場者数の変動は。

事務局：年々減少しており、値上げの影響を受けないよう、どのように付加価値を高めていくのが課題となってくる。

原案のとおり承認

議案第2号 米原市伊吹山文化資料館条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

委員：学校の授業の一環として利用する場合も利用料が必要なのか。

事務局：学校が授業で利用する場合は、市長の認めるものとして免除している。

委員：米原市民でも入館料は必要か。

事務局：米原市民でも入館料は必要となる。

原案のとおり承認

議案第3号 米原市柏原宿歴史館条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

原案のとおり承認

議案第4号 米原市体育施設条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

原案のとおり承認

議案第5号 米原市使用料条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

原案のとおり承認

議案第6号 米原市立学校設置条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

原案のとおり承認

議案第7号 米原市スポーツ顕彰候補者選考委員の委嘱について

事務局より概要説明

〇〇委員の漢字を訂正して承認

議案第8号 平成20年度使用一般図書の採択について

事務局より概要説明

委員：次回の図書採択も長浜市が事務局となるのか。

事務局：現在のところは長浜市が事務局となっていたが、次回までは決定していない。

原案のとおり承認

#### 議案第9号 平成20年度米原市一般会計予算（教育関係）について

##### 事務局より主要箇所を説明

委員：教材教具と消耗品は各学校にどの程度予算配分されているのか。

事務局：学校の予算については、平成19年度予算の1パーセント減を目標に策定しており、大半が平成19年度と横ばい状態となっている。また、図書費については、学級あたりの単価がきまっているが、40人学級を基準に定められた単価であり、米原市の学校はクラスの児童生徒数が少ないため、その点を考慮するとある程度の予算化できている。

委員：図書館から図書を学校に貸与していると思うが、図書館での図書購入時に学校の要望を取入れる等の工夫はできないのか。

事務局：次年度に実施する「本を読もう事業」のなかで、クラスの人数分の図書を購入する計画はしている。

委員：t o t oの補助金は入ってきているのか。

事務局：旧米原、旧伊吹ではすでに補助が終了しているが、旧近江、旧山東町は次年度もt o t oの補助金が充当される予定である。

承認

#### 議案第10号 後援名義使用承認および共催について

- ・平成19年度 気軽にどこでもアート交流事業「アートはみんなのもの」

事務局より概要説明

後援承認

- ・「湖っ子INびわ湖2008」

事務局より概要説明

後援承認

- ・第6回T O S S 全国900会場一斉セミナーIN滋賀

事務局より概要説明

後援承認

- ・第5回ジュニア音楽団ほたるっち定期演奏会

事務局より概要説明

後援承認

- ・第8回近江カップ少年サッカー大会

事務局より概要説明

後援承認

- ・子育て支援後援会

事務局より概要説明

議案第11号 米原市芸術展覧会検討委員会設置規程について

事務局より概要説明

委員：一度に改選するといままでの経緯等が失われる恐れもあるため、委員の半数を改選する等の工夫をしてはどうか。

事務局：改選については柔軟に対応していきたいと考えている。

承認

4. その他

○学校給食費について

事務局より概要説明

委員：給食費の値上げ問題については給食運営委員会のなかで議案として議論するのか。

事務局：次回の給食運営委員会では案の段階として議論したいと考えている。

委員：近江地区は自校給食という特殊性から加工品が多く、材料値上がりの影響が非常に大きい。今後、急に材料費が値上がりした場合にも備えて今からこの議論を進めていきたいと考えている。

事務局：給食センターでは一括に材料を仕入れているが、自校給食では個別に材料を購入するためどうしても単価が上がってしまう。

委員：仮に値上げを行う場合には段階的に値上げするのではなく、1度に値上げしたほうが住民感情にも適うのではないか。

委員：資料以外の業者でも値上げを予定している業者はあるのか。

事務局：資料以外で納入しているところもあり、今後、値上がりの可能性は十分ある。

委員：広報等を利用し保護者負担は材料費だけであることを十分に周知したうえで値上げを実施していく必要があるのではないか。

○米原市における保育のあり方に関する検討委員会（答申）について

こども家庭課から概要説明

委員：具体的な方策のなかで「保育者が互いに研修し、交流する機会を設ける」としているが実際に交流の機会は設けているのか。

こども家庭課：従来は別々に行っていた保育所と幼稚園の園長会や研修会等を合同で開催しており幼保の交流の場は設けている。

委員：一人ひとりに応じた適切な援助を行うことを目的としているが、長時間保育を実施した場合、そのような目的を実現させるための時間の確保はできるのか。

こども家庭課：長時間保育のために臨時職員を雇用しているため、ある程度の時間的な確保はできている。なお、長時間保育はなくても幼稚園においても送迎等の諸々業務があるため、幼稚園や保育所にかかわらず時間の確保は課題事項である。

委員：長時間保育の実施にあたっては教育の質が低下しないように人的な確保により研修時間の確保をお願いしたい。

委員：現時点で民間園から幼保一体化して園の運営をしたいとの要望はあるのか。

こども課：何件か要望は受けている。少子化は民間園にとり死活問題でもあり、民間の園では様々な可能性を模索されている。

委員：研修が行なわれる場合には、外部講師等を広く招いて研修の成果が高まるように努力していただきたい。

○米原市文化財の指定（答申）について

事務局より概要説明

○米原市人権尊重のまちづくり審議会にかかる委員の推薦について

事務局より概要説明

○米原市教育センター奨励事業「教育研究論文」について

教育センターより概要説明

○次回定例教育委員会

平成20年2月21日（木）14時00分から

以上をもって第1回定例教育委員会を18時50分に終了した。